

花子さんのクラスの何人かで、お見舞いに「折り鶴」を1000羽つくることにしました。1人で1羽つくるのに3分かかるとき、次の問いに答えましょう。【思・判・表】

(1) 花子さんとまわりの友だちでつくとすると、1000羽つくるのに10時間かかることがわかりました。何人でつくと考えたでしょうか。

(2) 10時間では時間がかかりすぎなので、友だちの人数を増やして、2時間30分にしたいと考えました。何人でつくれればよいでしょうか。

(3) 「つくる人数」と「1人がつくる折り鶴の数」の関係を式に表しましょう。

小6 算数「反比例」2 解答・解説

花子さんのクラスの何人かで、お見舞いに「折り鶴」を1000羽つくることにしました。1人で1羽つくるのに3分かかるとき、次の問いに答えましょう。

(1) 花子さんとまわりの友だちでつくとすると、1000羽つくるのに10時間かかることがわかりました。何人でつくと考えたでしょうか。

(解答) 5人

(解説)  $10\text{時間} = 600\text{分}$        $600\text{(分)} \div 3\text{(分)} = 200\text{(羽)}$

1人だと600分で200羽つくることができるので、

1000羽つくるには、 $1000\text{(羽)} \div 200\text{(羽)} = 5\text{(人)}$  となります。

(2) 10時間では時間がかかりすぎなので、友だちの人数を増やして、2時間30分にしたいと考えました。何人でつくればよいでしょうか。

(解答) 20人

(解説)

つくる人数(人)	5	...	20	...
1人がつくる折り鶴の数(羽)	200	...	50	...

表から、折る人数を4倍にすればよいことがわかります。  $5 \times 4 = 20$

(3) 「つくる人数」と「1人がつくる折り鶴の数」の関係を式に表しましょう。

(解答)  $\text{つくる人数} \times \text{1人がつくる折り鶴の数} = 1000$

または  $\text{1人がつくる折り鶴の数} = \frac{1000}{\text{つくる人数}}$

(解説)

つくる人数(人)	5	...	8	...	10	...	20	...
1人がつくる折り鶴の数(羽)	200	...	125	...	100	...	50	...

表から、「つくる人数」と「1人がつくる折り鶴の数」は、反比例の関係があります。

【ポイント】

- ① 表などを使って整理して考えましょう。
- ② 時間の単位をそろえて考えましょう。
- ③ 「比」の考え方を利用してみよう。
- ④ 「比例・反比例」の考え方を利用してみよう。